

2016 年度 東京都予算等に関する請願

重点事項(抜粋)の論点メモと関連資料

【ワクチン関連抜粋】

東京保険医協会 2015 年 9 月

■ 2015年度 都内の区市町村における予防接種助成状況

凡例

1. 対象者、助成額に関わらず自治体として助成を行っているものを「●」と表記した。なお、回答が得られていない自治体分は未掲載である。
2. 「麻しん・風しん（未接種者向け）」は、各区市町村によって対象者の要件が異なる（ex. 18歳までの定期未接種者のうち接種歴が1回もしくは0回の者）。
3. 2015年7月～8月時点の状況を調査したものであり、その後、自治体で内容を変更している可能性もある。

【 区部 】

区市町村	BCG				おたふく	ロタ	B型肝炎	インフル エンザ	水痘 (任意接種)	成人用 肺炎球菌 (任意接種)	麻しん・風しん (未接種者向け)	
	個別	集団	相互乗入	償還払い (里帰り等)							I 期 (1歳児)	II 期 (小学校入学前)
1 千代田区	●	—	×	×	●	×	●	●	×	●	●	●
2 中央区	●	—	×	×	●	×	×	×	×	●	●	●
3 港区	●	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4 新宿区	●	—	×	●※1	●	×	×	●	×	×	×	×
5 文京区	●	—	×	●※2	●	×	×	×	×	●	●	●
6 台東区	●	—	×	×	×	×	×	●	×	×	●	×
7 墨田区	●	—	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●
8 江東区	●	—	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●
9 品川区	●	—	×	●	●	×	●	×	×	●	×	×
10 目黒区	●	—	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●
11 大田区	●	—	×	●	×	×	×	×	×	●	×	×
12 世田谷区	●	—	×	●	×	×	×	●	×	×	●	●
13 渋谷区	●	—	×	×	●	●	●	●	×	×	●	●
14 中野区	●※3		×	●	●	×	×	×	×	×	●	●※4
15 杉並区	●※5	●	×	×	●	●	×	×	×	×	●	●
16 豊島区	●	—	×	×	●	×	●	×	×	×	●	●
17 北区	●※6	—	×	×	●	×	×	×	×	●	●	●
18 荒川区	●	—	×	×	●	×	×	×	×	×	●	●
19 板橋区	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
20 練馬区	●※7	—	×	×	●	×	×	×	×	●	●	●
21 足立区	●※8	●	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●
22 葛飾区	●※10	—	×	×	●	×	×	×	×	×	●	●
23 江戸川区	●	—	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●

※1：2014年10月から、保護者の里帰り等への配慮として「子どもの定期接種」について事前に手続きのうえ償還払いを開始（新宿区）

※2：2015年度から、保護者の里帰り等への配慮として「子どもの定期接種」について事前に手続きのうえ償還払いを開始（文京区）

※3：「個別接種」の希望者には立正佼成会付属佼成病院 および 東京警察病院の2医療機関で対応（中野区）

※4：2015年度から従来の「第1期」に加え、新たに「第2期」の未接種者向けの助成（小学校1年生～中学校3年生まで）を開始（中野区）

※5：2015年度から区内契約医療機関での「個別接種」を開始。「集団接種」は荻窪・高円寺・高井戸の保健センターで継続（杉並区）

※6：2015年度から区内協力医療機関での「個別接種」に変更（北区）

※7：2015年度から区内協力医療機関での「個別接種」に変更（練馬区）

※8：2015年度から従来の「集団接種」に加え、新たに集団接種で接種できなかった方向けの「個別接種」を開始（足立区）

※9：昨年9月30日までに水痘ワクチンを接種した方向けに「5,000円」を上限に接種費用を超えない額のクーポン券を交付（足立区）

※10：2015年度から区内契約医療機関での「個別接種」に変更（葛飾区）

【多摩部】

区市町村	BCG				おたふく	ロタ	B型肝炎	インフル エンザ	水痘 (任意接種)	成人用 肺炎球菌 (任意接種)	麻しん・風しん (未接種者向け)	
	個別	集団	相互乗入	償還払い (里帰り等)							I 期 (1歳児)	II 期 (小学校入学前)
24 八王子市	—	●	●※ 11	●	×	×	×	×	●※ 12	●	●	●
25 立川市	●	—	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×
26 武蔵野市	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●
27 三鷹市	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●
28 青梅市	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
29 府中市	●	—	●	×	×	×	×	×	×	×	●	●
30 昭島市	●	—	×	×	×	×	×	●	×	●	×	×
31 調布市	●	—	●	×	×	×	×	×	×	×	●	●
32 町田市	●※ 13	—	●※ 11	●	×	×	×	×	×	●	●※ 14	●※ 14
33 小金井市	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×
34 小平市	—	●	×	●	×	×	×	×	×	●	×	×
35 日野市	—	●	●※ 11	●	×	×	×	×	×	●	●	●
36 東村山市	—	●	×	●※ 15	×	×	×	×	×	×	×	×
37 国分寺市	●	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
38 国立市	●	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
39 福生市	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
40 狛江市	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
41 東大和市	●	—	×	●	×	×	×	×	×	●	●	●
42 清瀬市	—	●	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×
43 東久留米市	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
44 武蔵村山市	●	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
45 多摩市	●	—	●※ 11	●	×	×	×	×	×	×	×	×
46 稲城市	●※ 16		●※ 11	●	×	×	×	×	×	×	×	×
47 羽村市	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
48 あきる野市	回答なし											
49 西東京市	—	●	×	×	●	×	×	×	×	●	●	●
50 瑞穂町	—	●	×	×	●	×	×	×	×	●	●	●
51 日の出町	—	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
52 桧原村	●	—	×	×	×	×	×	●	×	●	×	×
53 奥多摩町	依頼中											

※ 11：2015年度から八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市の5市内でBCGを含む「子どもの定期接種」の相互乗入を開始

※ 12：3歳から4歳11か月（5歳の誕生日の前日）までのお子さんと過去に水痘の罹患歴・予防接種歴のない方に1回に限り全額助成（八王子市）

※ 13：2015年度から区内指定医療機関での「個別接種」に変更（町田市）

※ 14：2015年度からMRワクチン未接種者に「フォロー予防接種」を開始（町田市）

※ 15：今年度実施の予定であり、規則制定途中（東村山市）

※ 16：原則として集団接種（稲城市）

（補足）2015 年度 都内の区市町村における予防接種助成状況

■ 保護者の里帰り出産等を理由とした「償還払い」

昨年調査以降、新たに「新宿区」「文京区」等で保護者の里帰り等への配慮として「償還払い」を導入。さらに「東村山市」でも 2015 年度の実施に向けて調整中である。

「償還払い」対応自治体

区 部：新宿区（2014 年 10 月）、文京区（2015 年度）、品川区、大田区、世田谷区、中野区
多摩部：八王子市、町田市、小平市、日野市、東村山市（2015 年度から実施調整中）、東大和市、多摩市、稲城市

注）接種前に事前の手続き（依頼状申請など）が必要な場合が多い。

注）「子どもの定期接種」のみとしている自治体がほとんどの一方で、高齢者インフルエンザ・成人用肺炎球菌についても償還払いにしている自治体もある。

■ 「ロタウイルス」

「渋谷区」につづき、2015 年度から新たに「杉並区」で任意接種の助成を開始した。

	対象者（児）	助成金額	助成回数
渋谷区	【ロタリックス】 生後 6 週～24 週 0 日	<u>8,500 円／回</u>	2 回
	【ロタテック】 生後 6 週～32 週 0 日	<u>(※1)</u>	2 回 (※2)
<u>杉並区</u> (2015.4～)	<u>【ロタリックス】</u> <u>生後 6 週～24 週</u>	<u>6,000 円／回</u>	<u>2 回</u>
	<u>【ロタテック】</u> <u>生後 6 週～32 週</u>	<u>4,000 円／回</u>	<u>3 回</u>

※1：2015 年度から、助成額を「7,500 円／回」から「8,500 円／回」に拡充した（渋谷区）

※2：「ロタテック」（5 価ワクチン）の接種回数は 3 回であるが、助成は 2 回分まで（渋谷区）

■ 「B型肝炎ウイルス」

「渋谷区」「品川区」につづき、2015 年度から「千代田区」、さらに昨年までの豊島区医師会独自の助成は終了となり、新たに「豊島区」で任意接種の助成事業を開始した。

	対象者（児）	助成金額	助成回数
渋谷区 (2013.4～)	0 歳の乳児 (1 歳の誕生日の前日まで)	<u>全額助成 (※1)</u>	3 回
品川区 (2014.4～)	生後～1 歳の誕生日の前々日まで	3,000 円助成／回	3 回
<u>千代田区</u> (2015.4～)	<u>2 か月～1 歳の誕生日の前日まで</u>	<u>全額助成</u>	<u>3 回</u>
<u>豊島区</u> (2015.4～)	<u>生後 2 か月～1 歳に至るまで</u> <u>(生後 2 か月～2 歳に至るまで (※2))</u>	<u>全額助成</u>	<u>3 回</u>
参考・豊島区医師会 (※3) (2013.9～2015.3)	2 ヶ月から 1 歳未満	全額助成	3 回

※1：昨年度までは「1 回：5,000 円助成」としていたが、2015 年度から「全額助成」となった（渋谷区）

※2：2015 年度に限りの経過措置で、2016 年度以降は上段のみとなる（豊島区）

※3：2013 年 4 月～9 月までは、費用の一部を償還払いにて助成（豊島区医師会）

■「麻しん・風しん（未接種者向け）」

2015 年度から、「中野区」で新たに「Ⅱ期末接種者向け」の助成を拡充したほか、「町田市」でも新たに「Ⅰ期・Ⅱ期の未接種者向け」の助成を開始した。

	未接種		対象者（児）	助成金額
	Ⅰ期	Ⅱ期		
中野区	○	○	Ⅰ期：2 歳～5 歳になった年の年度末まで Ⅱ期：小学校 1 年生～中学校 3 年生まで（2015.4～）	全額助成
町田市 （2015.4～）	○	○	Ⅰ期：2 歳～6 歳未満 Ⅱ期：6 歳～19 歳未満	全額助成

■ おたふくかぜ（ムンプス・流行性耳下腺炎）

昨年度につづき、2015 年度も下記の 15 自治体 で助成を継続している。

	対象者（児）	助成金額	助成回数
千代田区	1 歳～就学前年度の 3 月 31 日まで	全額助成	1 回
中央区	満 1 歳～小学校就学前年度（1 回目） 小学校就学前年度（2 回目）	4000 円助成／回	2 回
新宿区	1 歳～小学校に上がる前の年度 （6 歳に達する日以降の最初の 3 月 31 日まで）	自己負担 3,000 円	1 回
文京区	満 12 か月～小学校就学前の 3 月 31 日まで	3,000 円助成	1 回
品川区	満 1 歳～3 歳（4 歳の誕生日の前々日まで）	3,000 円助成	1 回
渋谷区	1 歳～3 歳	全額助成	1 回
中野区	満 1 歳～小学校に入学するまで	4,000 円助成	1 回
杉並区	満 1 歳～小学校就学前の 3 月 31 日まで	4,000 円助成	1 回
豊島区	1 歳～7 歳未満の就学前 3 月末	3,000 円助成	1 回
北区	1 歳～小学校に就学する年の 3 月 31 日まで	3,500 円助成	1 回
荒川区	生後 1 歳～小学校に就学する年の 3 月 31 日まで	3,500 円助成	1 回
練馬区	平成 24 年 4 月 2 日以降に生まれた方 （3 歳の誕生日の前々日まで）	3,000 円助成	1 回
葛飾区	1 歳～2 歳に至るまで	4,000 円助成	1 回
西東京市	接種時に 1 歳（2 歳の誕生日の前日まで）の方	自己負担 3,100 円	1 回
瑞穂町	接種日が 1 歳の誕生日の前日～6 歳の誕生日の前々日までの方	3,000 円助成	1 回

■ 水痘ワクチンの任意接種による助成（八王子市）

八王子市では、水痘ワクチンの定期接種（1歳～3歳未満）のほか、3歳～5歳未満でワクチン未接種の子どもを対象に任意接種による助成を行っている。

	通常の定期接種	八王子市「水痘特別接種」(※)
対象者	1歳～2歳11か月 (1歳の誕生日の前日～3歳の誕生日の前日)	3歳～4歳11か月 (3歳の誕生日当日～5歳の誕生日の前日)
費用	無料	無料(1回)

※：対象者は、過去に水痘に罹患したことがなく、かつ水痘ワクチンを未接種の子ども。

■ 介護老人福祉施設等の入所者への償還払い（町田市）

町田市では、高齢者の定期接種ワクチン（インフルエンザ、成人用肺炎球菌）について、定期接種の対象者のうち「指定介護老人福祉施設」「指定介護老人保健施設」「指定介護療養型医療施設」のいずれかに入所しているため、契約医療機関以外で接種した場合も、その費用を償還払いにより助成している（事前に申請書の提出が必要）。

	通常の定期接種の対象者 (市内の契約医療機関)	介護老人保健施設等の入所者 (その他の医療機関)
高齢者インフルエンザ	自己負担 2,500 円 (※1)	2,500 円助成(償還払い) (※2)
成人用肺炎球菌	4,000 円助成	4,000 円助成(償還払い)

※1：生活保護受給者等は「無料」。

※2：生活保護受給者等は「5,100 円助成(償還払い)」。

(参考)

「施設入所者用予防接種依頼願・記入例」
(町田市ホームページより)

記入例

予 防 接 種 依 頼 願

町田市長 様

【注意】
※親族、成年後見人が代理で申請する場合、こちらにも記入して下さい。
※施設の方は代理人になれません。

申請者(被接種者)氏名：		町田 太郎
代理人(親族等)氏名：	町田 一郎	
続 柄 ：	長男	
住 所 ：	町田市森野2-2-22	
電 話 番 号 ：	042-724-4239	

施設入所中のため、予防接種を自らの意思により希望しますので、予防接種依頼書の発行をお願いします。

記

予防接種名	インフルエンザ		
接種予定日	20〇〇年 11 月 1 日 頃		
被接種者氏名	町田 太郎		
生年月日	1940 年 10 月 1 日 生 (〇〇 歳) (昭和15)		
被接種者 住民登録地 /電話番号	町田市	森野2-2-22	TEL 042-724-4239
医療機関/施設住所 名称・電話番号	相模原市〇×1-2-3 さがみの里 TEL 042-750-8030		
施設種別 (いずれかに○)	☒ 指定介護老人福祉施設 ・ 介護老人保健施設 ☐ 指定介護療養型医療施設		
依頼理由	施設入所のため		
依頼書等の発送先 (どちらかに○)	施設宛 (被接種者の居所)	☒ 申請者宛 (親族等)	
滞在予定期間	2013 年 4 月から 年 月頃まで		

町田市記入欄
受付日

担当

受付番号

■ 南多摩保健医療圏5市における相互乗入が開始（2015年度）

2015年4月から八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市の5市内で、従来の「高齢者インフルエンザ（定期B類）」に加え、新たに「子どもの定期接種」の相互乗入を開始した。

これにより圏域内5市の契約医療機関であれば、例えば、居住地以外の“かかりつけ医療機関”のもとで、定期接種を受けることが可能となる。

【対象ワクチン】

ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、三種混合、二種混合、MR混合（麻しん、風しん）、水痘、日本脳炎、不活化ポリオ、子宮頸がん、BCG（※）

※ 各市によって個別接種か集団接種かが異なる。

【参考・BCGの接種形式】

集団接種：八王子市、日野市、稲城市（※）

個別接種：町田市、多摩市

※ 原則として「集団接種」（稲城市）

【参考・イメージ】



【開始時期】 2015年4月1日～

【対象ワクチン】

ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、三種混合、不活化ポリオ

BCG、MR（麻しん風しん）、水痘、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん

■ 2015年度 都内の区市町村における「成人用肺炎球菌（定期B類）」の助成状況

凡例

1. 「通常の対象者」とは、国が定める65～100歳のうち「2015年度に定期接種の対象となる者」および「60～65歳未満であって心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能に日常生活が極度に制限される程度の障害を有する者等」をさす。
2. 「生活保護受給者等」には、「中国残留邦人支援給付金受給者」等を含めて助成している自治体も見られたが、本表では区別せずに掲載している。
3. 調査時点で「2015年度は未定」と付記のあった自治体については別途注記しており、また集計時点で回答のなかった自治体等については未掲載としている。

【 区部 】

区市町村	成人用肺炎球菌（定期B類）			
	通常の対象者	住民税非課税世帯	生活保護受給者等	償還払い （事前に依頼書等が必要）
1 千代田区	自己負担4,000円	全額助成	全額助成	×
2 中央区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
3 港区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
4 新宿区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
5 文京区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
6 台東区	自己負担4,000円	全額助成	全額助成	×
7 墨田区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
8 江東区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
9 品川区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	○
10 目黒区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
11 大田区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
12 世田谷区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成 ※1	○
13 渋谷区	全額助成	全額助成	全額助成	×
14 中野区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	○
15 杉並区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
16 豊島区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
17 北区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
18 荒川区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
19 板橋区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
20 練馬区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
21 足立区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
22 葛飾区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
23 江戸川区	自己負担4,000円	自己負担4,000円	自己負担4,000円	×

※1：東日本大震災の被災者についても接種費用を「全額助成」している（世田谷区）

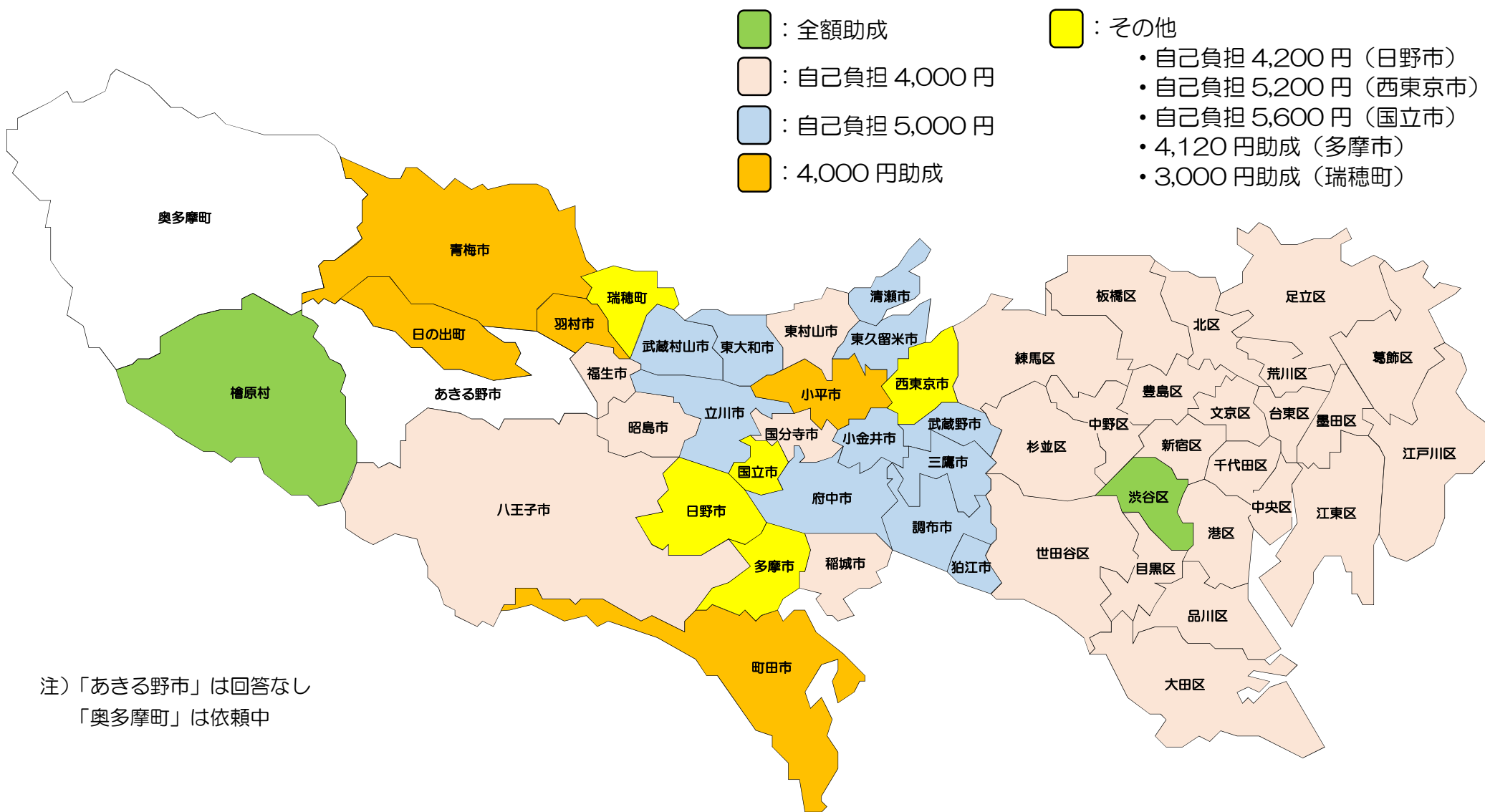
【多摩部】

	区市町村	成人用肺炎球菌（定期B類）			
		通常の対象者	住民税非課税世帯	生活保護受給者等	償還払い （事前に依頼書等が必要）
24	八王子市	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	○
25	立川市	自己負担5,000円	自己負担5,000円	全額助成	×
26	武蔵野市	自己負担5,000円	自己負担5,000円	全額助成	×
27	三鷹市	自己負担5,000円	自己負担5,000円	全額助成	×
28	青梅市	4,000円助成	4,000円助成	全額助成	×
29	府中市	自己負担5,000円	自己負担5,000円	全額助成	×
30	昭島市	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
31	調布市	自己負担5,000円	自己負担5,000円	全額助成	×
32	町田市	4,000円助成	4,000円助成	4,000円助成	○ ※2
33	小金井市	自己負担5,000円	自己負担5,000円	全額助成	×
34	小平市	4,000円助成	4,000円助成	8,000円上限に助成	○
35	日野市	自己負担4,200円	自己負担4,200円	全額助成	○
36	東村山市	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
37	国分寺市	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
38	国立市	自己負担5,600円	自己負担5,600円	全額助成	×
39	福生市	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	×
40	狛江市	自己負担5,000円	自己負担5,000円	全額助成	×
41	東大和市	自己負担5,000円	自己負担5,000円	全額助成	×
42	清瀬市	自己負担5,000円	自己負担5,000円	全額助成	×
43	東久留米市	自己負担5,000円	自己負担5,000円	全額助成	×
44	武蔵村山市	自己負担5,000円	自己負担5,000円	全額助成	×
45	多摩市	4,120円助成	4,120円助成	全額助成	○
46	稲城市	自己負担4,000円	自己負担4,000円	全額助成	○
47	羽村市	4,000円助成	4,000円助成	全額助成	×
48	あきる野市	回答なし			
49	西東京市	自己負担5,200円	自己負担5,200円	全額助成	×
50	瑞穂町	3,000円助成	3,000円助成	3,000円助成	×
51	日の出町	4,000円助成	4,000円助成	全額助成	×
52	桧原村	全額助成 ※3	全額助成 ※3	全額助成 ※3	○
53	奥多摩町	依頼中			

※2：指定介護老人福祉施設等に入所中で市内での接種が困難な場合のみ（町田市）

※3：村内の診療所で接種した場合は、村からの6,000円助成により費用負担なく接種が可能（桧原村）

■ 都内区市町村における成人用肺炎球菌ワクチンの「通常の定期接種対象者」の接種費用分布（2015 年度）



注)「あきる野市」は回答なし
「奥多摩町」は依頼中

■ 2015年度 都内の区市町村における大人の風しん予防接種の公費負担状況（島嶼部を除く）

【 区部 】

	区市町村	「抗体検査」			抗体検査の助成	予防接種の助成		予防接種の助成期限	
		区事業	妊婦	その他		MR	風しん単独	女性	男性
1	千代田区								
2	中央区	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
3	港区	○	○	○	全額助成	6,000円助成	3,000円助成	2016年3月末	
4	新宿区	○	○	○	全額助成	自己負担5,210円	自己負担3,140円	2016年3月末	
5	文京区	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
6	台東区	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
7	墨田区	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
8	江東区	○	○	○	無料 (保健相談所)	全額助成		2016年3月末	
9	品川区	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
10	目黒区	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
11	大田区	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
12	世田谷区	○	○	○	全額助成	5,000円助成	3,000円助成	2016年3月末	
13	渋谷区	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
14	中野区	○	○	○	全額助成	6,000円助成		2016年3月末	
15	杉並区	○	○	○	全額助成	女性：全額助成 男性：下記金額を自己負担 (MR5,000円、単独3,000円)		2016年3月末	
16	豊島区	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
17	北区	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
18	荒川区	○	○	○	全額助成	全額助成 ※ 区外の場合は下記の金額を上限に償還払い ・予防接種：MR 10,640円、単独 6,425円		2016年3月末	
19	板橋区	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
20	練馬区	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
21	足立区	○	○	○	無料 (保健総合センター)	自己負担5,000円	自己負担3,000円	2016年3月末	
22	葛飾区	○	○	○	全額助成	自己負担5,000円	自己負担3,000円	2016年3月末	
23	江戸川区	○	○	○	全額助成	自己負担 5,300円		2016年3月末	

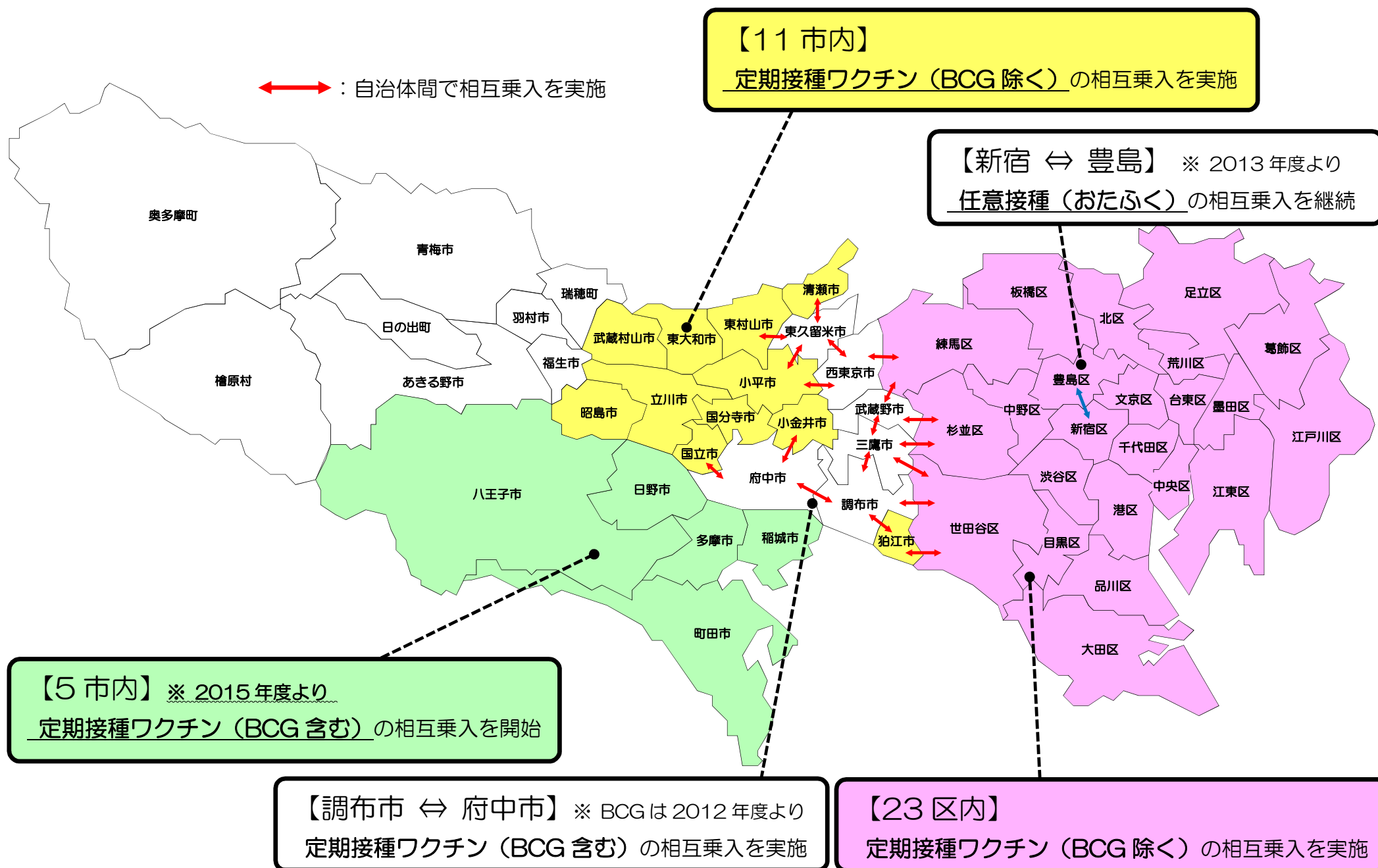
※ 上記のほか、各区市町村において対象者の基準を設けており、詳細は各自治体へ問い合わせされたい。
(例：「過去に2回以上風しんワクチンを接種した者を除く」、「2014年度に助成を受けた者を除く」)

【多摩部】

	区市町村	「抗体検査」			抗体検査の助成	予防接種の助成		予防接種の助成期限	
		区事業	妊婦	その他		MR	風しん単独	女性	男性
24	八王子市	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
25	立川市	○	○	○	全額助成	自己負担5,000円	自己負担3,500円	2016年3月末	
26	武蔵野市	○	○	○	全額助成	自己負担4,000円		2016年3月末	
27	三鷹市	○	○	○	全額助成	自己負担5,000円	自己負担1,447円	2016年3月末	
28	青梅市	○	○	○	全額助成	5,000円助成	3,000円助成	2016年3月末	
29	府中市	○	×	×	全額助成	自己負担5,000円	自己負担3,000円	2016年3月末	
30	昭島市	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
31	調布市	○	○	○	全額助成	自己負担4,000円	自己負担3,000円	2016年3月末	
32	町田市	○	○	○	全額助成	自己負担3,000円		2016年3月末	
33	小金井市	○	○	○	全額助成	自己負担5,000円	自己負担3,000円	2016年3月末	
34	小平市	○	○	○	全額助成	自己負担5,000円	自己負担3,000円	2016年3月末	
35	日野市	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
36	東村山市	○	○	○	全額助成	自己負担1,010円	自己負担660円	2016年3月末	
37	国分寺市	○	○	○	全額助成	自己負担5,400円	自己負担3,700円	2016年3月末	
38	国立市	○	○	○	全額助成	自己負担4,000円	自己負担3,000円	2016年3月末	
39	福生市	○	○	○	全額助成	5,000円助成	3,000円助成	2016年3月末	
40	狛江市	○	○	○	全額助成	自己負担4,000円	自己負担3,000円	2016年3月末	
41	東大和市	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
42	清瀬市	○	○	○	全額助成	自己負担1,000円		2016年3月末	
43	東久留米市	○	○	○	全額助成	自己負担1,300円	自己負担750円	2016年3月末	
44	武蔵村山市	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
45	多摩市	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
46	稲城市	○	○	○	全額助成	自己負担4,000円	自己負担3,000円	2016年3月末	
47	羽村市	○	○	○	全額助成	5,000円助成	3,000円助成	2016年3月末	
48	あきる野市	○	○	○	全額助成	5,000円助成	3,000円助成	2016年3月末	
49	西東京市	○	○	○	全額助成	自己負担5,800円	自己負担4,000円	2016年3月末	
50	瑞穂町	○	○	○	全額助成	5,000円助成	3,000円助成	2016年3月末	
51	日の出町	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	
52	檜原村	○	×	×	全額助成	全額助成		2016年3月末	
53	奥多摩町	○	○	○	全額助成	全額助成		2016年3月末	

※ 上記のほか、各区市町村において対象者の基準を設けており、詳細は各自自治体へ問い合わせされたい。
 (例：「過去に2回以上風しんワクチンを接種した者を除く」、「2014年度に助成を受けた者を除く」)

■ 都内区市町村における「子どもの定期接種」の相互乗入の実施状況（2015年度）



■ 都内区市町村における「高齢者の定期接種」の主な相互乗入の実施状況（2015年度）

【8 市内】

高齢者インフルエンザのみ 相互乗入
(成人用肺炎球菌は×)

【11 市内】

高齢者インフルエンザのみ 相互乗入
(成人用肺炎球菌は×)

【三鷹市 ⇄ 武蔵野市、調布市、小金井市】

定期接種ワクチン の相互乗入
(小金井市とは 高齢者インフルエンザ のみ)

【東久留米市 ⇄ 清瀬市、東村山市、小平市、西東京市】

高齢者インフルエンザのみ 相互乗入
(成人用肺炎球菌は×)

【練馬区 ⇄ 西東京市、武蔵野市】

高齢者インフルエンザのみ 相互乗入
(成人用肺炎球菌は×)



【調布市 ⇄ 世田谷区、府中市、三鷹市、狛江市】

定期接種ワクチン の相互乗入
(世田谷区、府中市とは 高齢者インフルエンザのみ)

【23 区内】

定期接種ワクチン の相互乗入
(成人用肺炎球菌、高齢者インフルエンザ)

【5 市内】

高齢者インフルエンザのみ 相互乗入
(成人用肺炎球菌は×)

【杉並区 ⇄ 武蔵野市、三鷹市】

高齢者インフルエンザのみ 相互乗入
(成人用肺炎球菌は×)

【世田谷区 ⇄ 狛江市、調布市、三鷹市】

高齢者インフルエンザのみ 相互乗入
(成人用肺炎球菌は×)

定期予防接種 広域化の状況・全国

各自治体HPと電話による問い合わせにより作成（2015/8現在）

	都道府県 広域化	住民が都道府県内の他の区市町村で 接種する場合		高齢者イン フルエンザ	高齢者肺炎球菌 ワクチン	備考	一部 地域
		予防接種 依頼書 ①	住所地市町村への 事前連絡・届出等				
		○必要 △各市町村の判断 ×不要					
1	北海道	×	○	○	-	-	
2	青森	○	×	○	×	×	住所、予防接種の種類、医療機関名、理由等を確認
3	岩手	×	○	○	-	-	
4	宮城	○	×	△	○	○	BCGを除く 一部自治体では予診票等確認のため事前連絡が必要
5	秋田	○	×	×	○	○	2013年度スタート
6	山形	○	×	○	○	○	「広域予防接種券」の交付申請(住所地以外の接種)が必要
7	福島	○	×	×	○	○	
8	茨城	○	×	×	○	○	平成26年10月から広域接種体制が整備された
9	栃木	○	×	○	○	○	住所地市町村に連絡した上で接種協力医療機関に申込
10	群馬	○	×	×	○	○	
11	埼玉	○	×	×	○	○	高齢者インフルエンザ予防接種は、住所地市町村への届出が必要などもある
12	千葉	○	×	△	○	○	住所地市町村への届出が必要などもある
13	東京	×	○	○	-	-	特別区など一部乗り入れ ○
14	神奈川	×	○	○	-	-	南足柄市・小田原市間など一部乗り入れ ○
15	新潟	○	×	×	○	○	
16	富山	○	×	×	×	×	子どもの定期接種
17	石川	○	×	×	○	○	
18	福井	○	×	△	×	×	2014/10/1実施 A類 住所地市町村へ届出が必要などもある
19	山梨	○	×	×	○	○	
20	長野	○	×	×	○	○	
21	岐阜	○	×	△	○	○	住所地市町村への届出が必要などもある
22	静岡	○	○	○	市町村判断	市町村判断	相互乗り入れ予防接種依頼書が必要
23	愛知	○	×	○	×	×	2014年度から実施 A類。市町村は「広域予防接種連絡票」、予診票等を交付
24	三重	○	×	×	○	○	
25	滋賀	○	×	○	○	○	広域化予防接種事業申請書を提出(住所地以外の接種)
26	京都	○	×	×	○	○	※ 京都市以外の府民が京都市内で接種する場合、予防接種依頼書が必要
27	大阪	×	○	○	-	-	北河内5市など、いくつかの自治体間で相互乗り入れ ○
28	兵庫	○	○	○	○	○	※ 41市町中、35市町間で広域化。但し、「広域的予防接種申込書」を提出
29	奈良	○	○	○	○	○	承認書(依頼書)つきの予診票が必要
30	和歌山	○	×	○	○	○	
31	鳥取	×	○	○	-	-	3医療圏のうち、同一医療圏域内でおおむね広域化 ○
32	島根	×	○	○	-	-	
33	岡山	○	×	×	○	○	
34	広島	○	×	○	○	○	広域予防接種券の交付申請(住所地以外の接種)
35	山口	○	×	×	○	○	
36	徳島	○	×	×	×	○	
37	香川	○	×	×	○	○	
38	愛媛	○	×	×	○	○	
39	高知	○	×	×	○	○	
40	福岡	○	×	×	○	○	
41	佐賀	○	×	×	○	○	
42	長崎	○	×	×	○	○	
43	熊本	○	×	△	○	○	一部の自治体では 別途予診票の発行手続きが必要
44	大分	○	×	×	○	○	
45	宮崎	○	×	×	○	○	
46	鹿児島	○	×	×	○	○	
47	沖縄	○	×	×	○	○	※41市町中、那覇市を除く40市町で乗り入れ

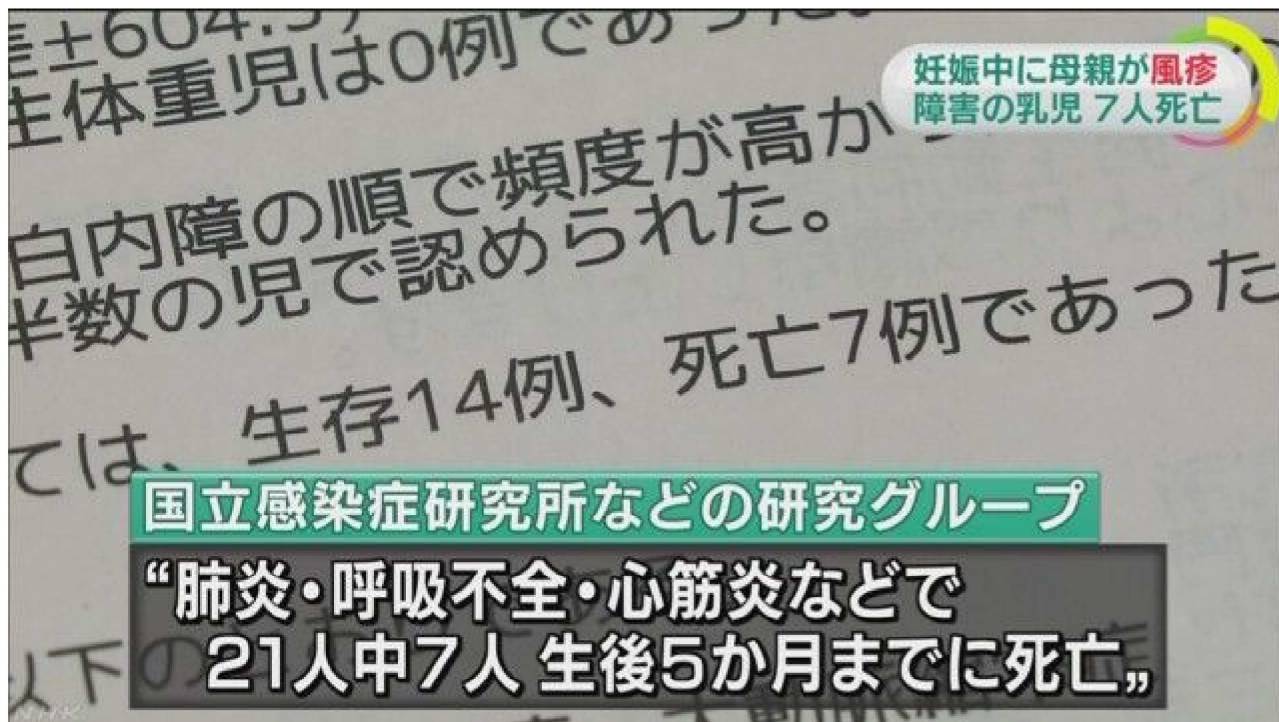
東京保険医協会調べ

①「予防接種依頼書」とは、受けた予防接種により健康被害が生じた場合に、住所地の区市町村が健康被害救済のための措置を講じることを明らかにする書類。
都道府県内であっても、住所地外で予防接種を希望する者は、事前に住所地市町村に「予防接種依頼書」の発行を申請する必要がある自治体。

8月7日 4時50分

NHK NEWSWEB

妊娠中に母親が風疹 障害の乳児7人死亡



おととしまでの2年間で、妊娠中に母親が風疹にかかったことが原因で障害をおった赤ちゃん45人のうち、少なくとも7人が死亡していたことが、国立感染症研究所などの調査で分かりました。専門家は「ワクチン接種を徹底し、風疹をなくすることが重要だ」と指摘しています。

風疹は、妊娠初期の女性が感染すると生まれてくる赤ちゃんの耳や目、心臓などに障害が出る「先天性風疹症候群」になるおそれがあり、平成24年から25年にかけて大人の間で風疹が流行した際には、45人の赤ちゃんが先天性風疹症候群になったと報告されています。

今回、国立感染症研究所などの研究グループが、このうちの21人について、その後の経過を詳しく調査した

ところ、生後5か月までに7人が、肺炎や呼吸不全、それに心筋炎などを起こして死亡していたことが分かりました。

また、どんな障害があるかについて調べたところ、70%以上の赤ちゃんで難聴や心臓の疾患が、また、およそ20%で白内障があったほか、肝機能や精神発達の障害などもあったということです。

調査を行った国立感染症研究所感染症疫学センターの砂川富正室長は「先天性風疹症候群は赤ちゃんに非常に重篤な症状をもたらすことが分かった。風疹の流行をなくすることが重要で、ワクチン接種の徹底が必要だ」と話しています。

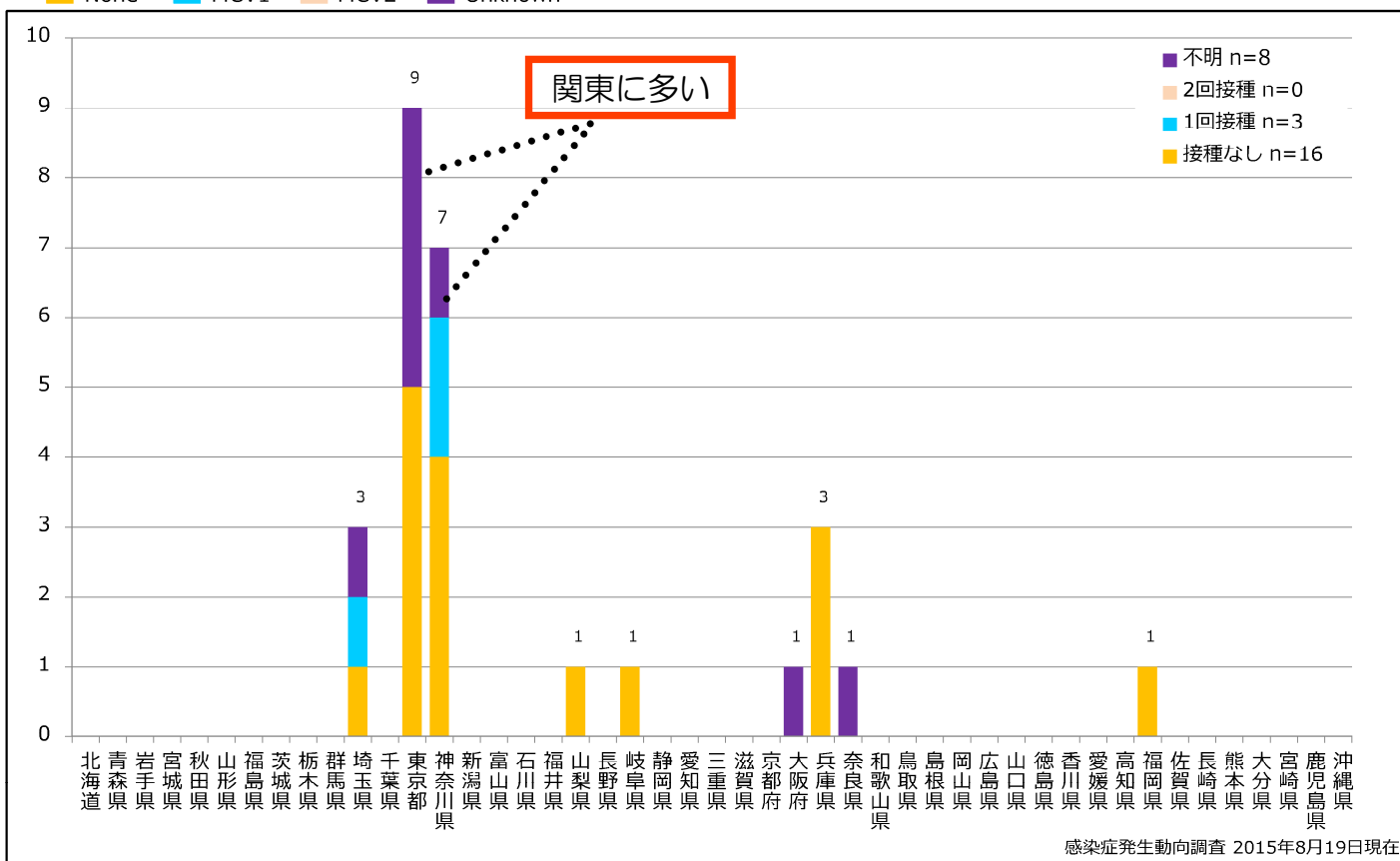
<その他の情勢資料>

出典：NIID国立感染症研究所「麻疹 発生動向調査（2015年8月19日現在）」より一部加筆

5. 都道府県別接種歴別 麻疹 累積報告数 2015年 第1～33週 (n=27)

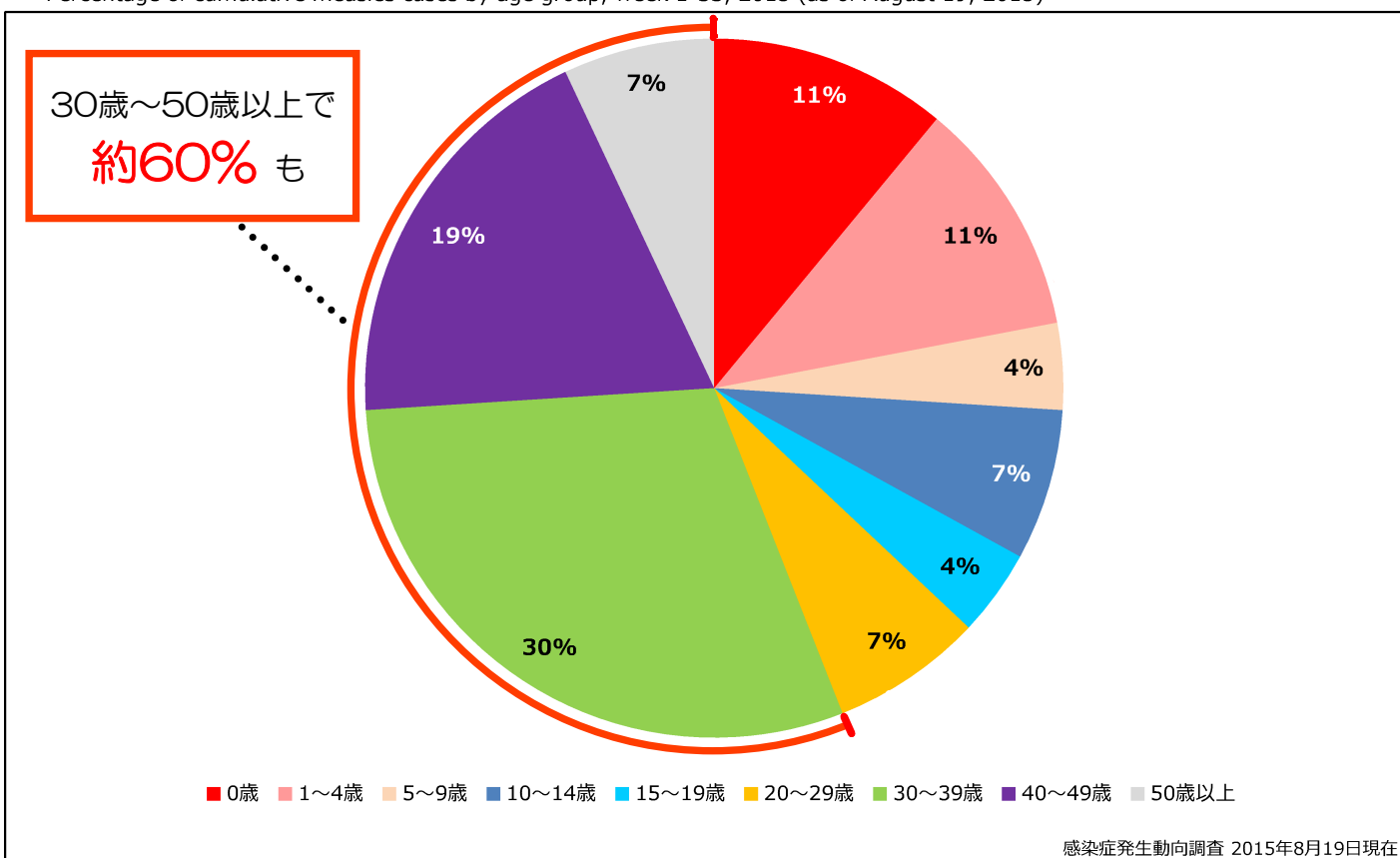
Cumulative measles cases by prefecture and vaccinated status, week 1-33, 2015 (as of August 19, 2015)

None MCV1 MCV2 Unknown



7. 年齢群別 麻疹 累積報告数割合 2015年 第1～33週 (n=27)

Percentage of cumulative measles cases by age group, week 1-33, 2015 (as of August 19, 2015)



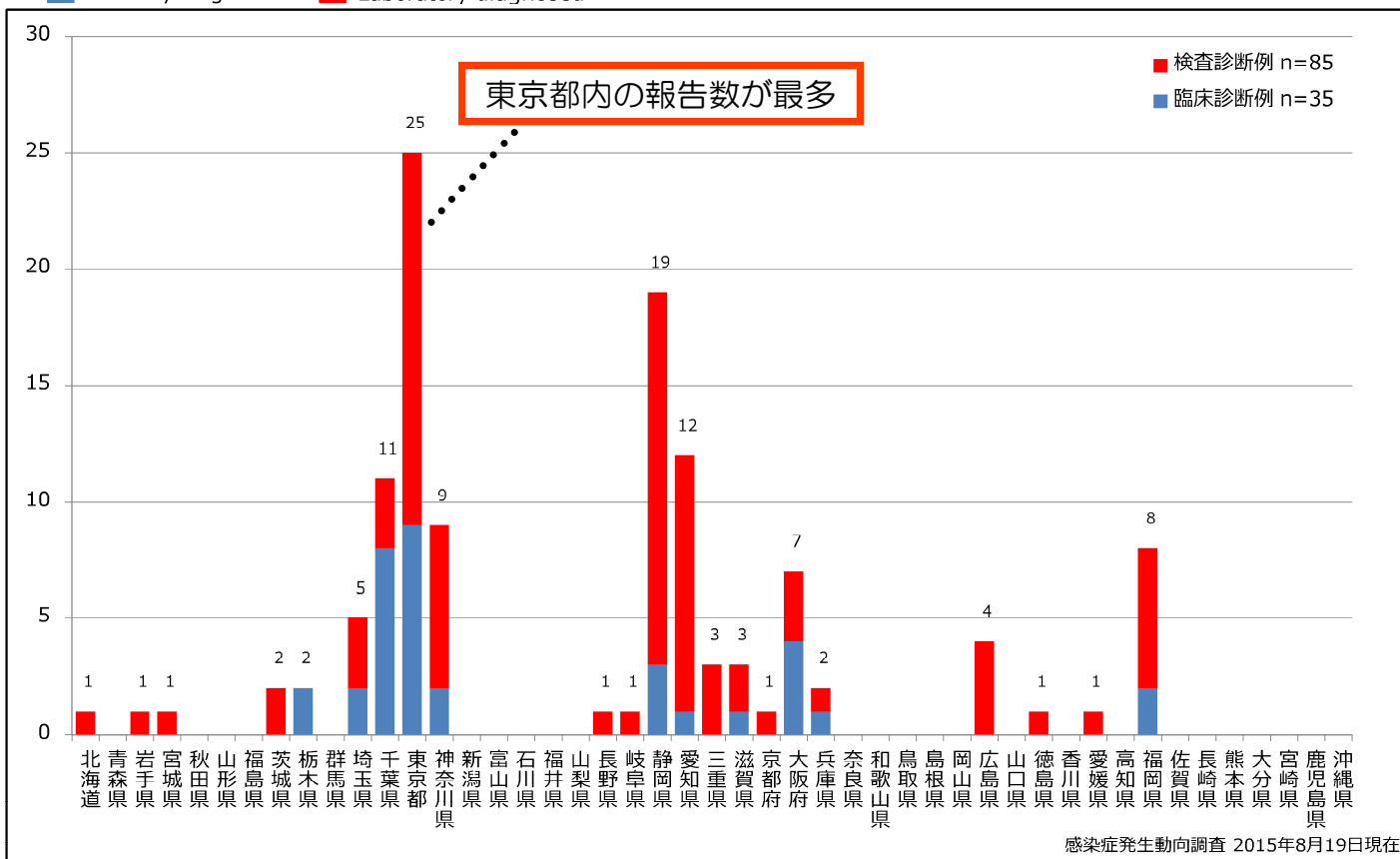
<その他の情勢資料>

出典：NIID国立感染症研究所「風疹 発生動向調査（2015年8月19日現在）」に協会加筆

4. 都道府県別病型別 風しん 累積報告数 2015年 第1～33週 (n=120)

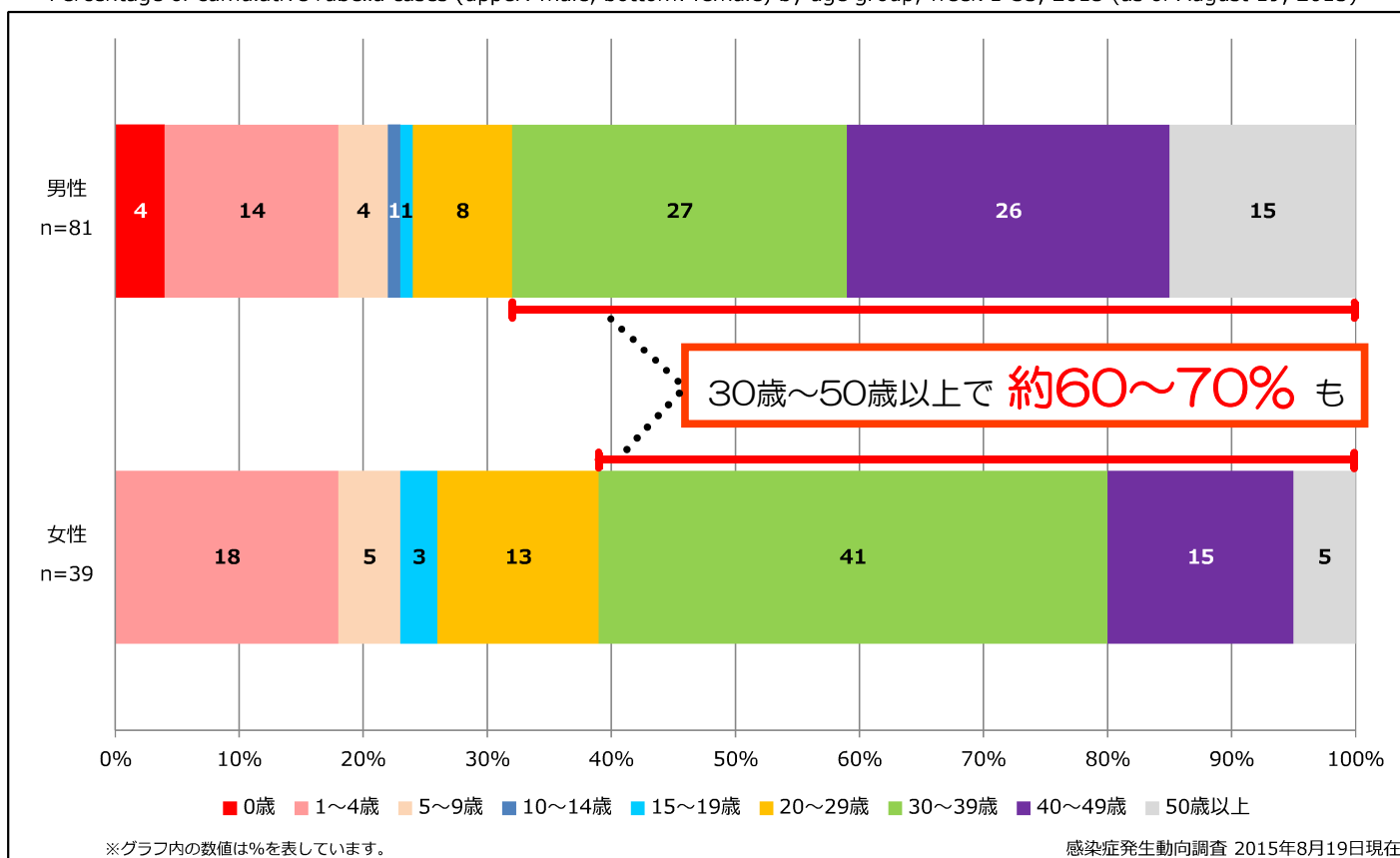
Cumulative rubella cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-33, 2015 (as of August 19, 2015)

■ Clinically diagnosed ■ Laboratory diagnosed



6. 年齢群別 風しん 累積報告数割合 (男女別) 2015年 第1～33週 (n=120)

Percentage of cumulative rubella cases (upper: male, bottom: female) by age group, week 1-33, 2015 (as of August 19, 2015)



＜その他の情勢資料＞

出典：墨田区「平成26年度墨田区大人の風しん抗体検査と予防接種助成事業実績（実績）」に協会加筆

平成26年度 墨田区
年齢階級別風しん抗体検査数（計1160人）

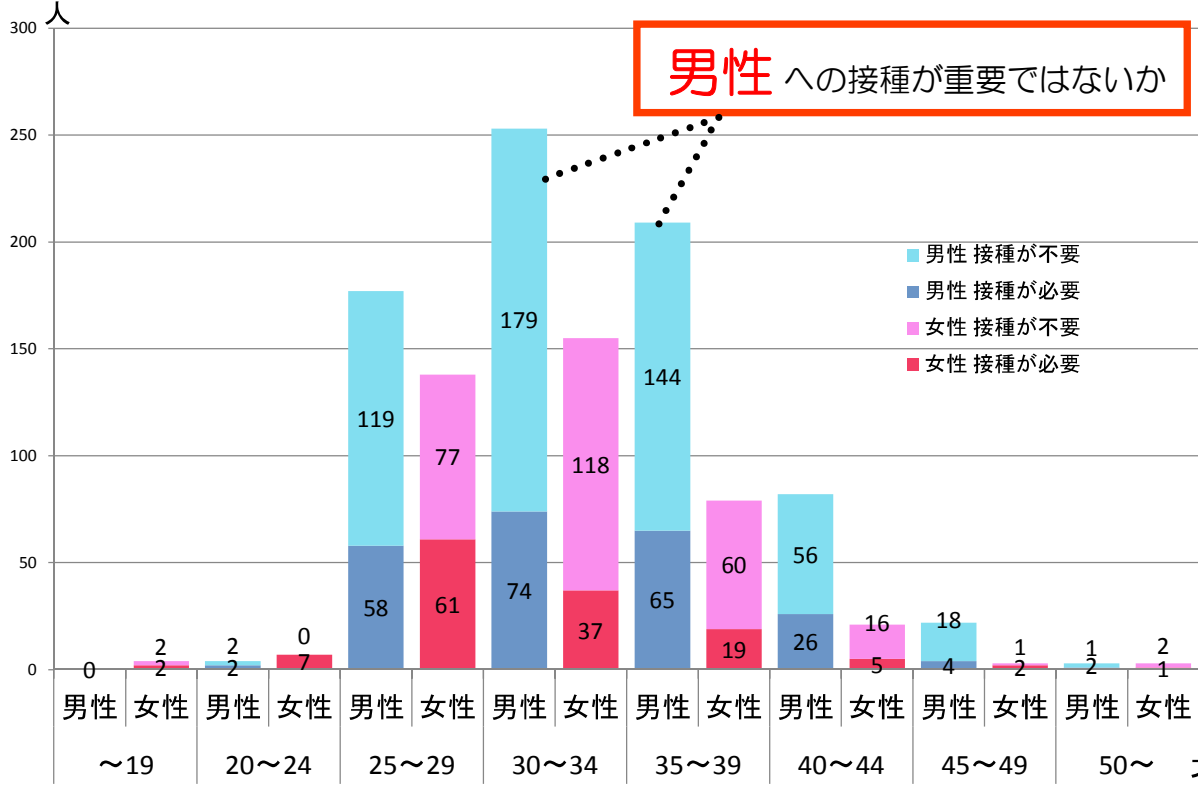
女									
年齢（才）	20未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～	合計
接種必要	2	7	61	37	19	5	2	1	134
接種不要	2	0	77	118	60	16	1	2	276
計	4	7	138	155	79	21	3	3	410
必要（％）	50.0%	100.0%	44.2%	23.9%	24.1%	23.8%	66.7%	33.3%	32.7%

男									
年齢（才）	20未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～	合計
接種必要	0	2	58	74	65	26	4	1	230
接種不要	0	2	119	179	144	56	18	2	520
計	0	4	177	253	209	82	22	3	750
必要（％）	0.0%	50.0%	32.8%	29.2%	31.1%	31.7%	18.2%	33.3%	30.7%

男女計									
年齢（才）	20未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～	合計
接種必要	2	9	119	111	84	31	6	2	364
接種不要	2	2	196	297	204	72	19	4	796
計	4	11	315	408	288	103	25	6	1,160
必要（％）	50.0%	81.8%	37.8%	27.2%	29.2%	30.1%	24.0%	33.3%	31.4%

ワクチン接種が必要な人が **3割** もいる

平成26年度 墨田区
年齢階級別風しん抗体検査数（計1160人）



2013年度 都道府県・区市町村別 MRワクチン接種率（第Ⅰ期・第Ⅱ期）

【都道府県別】

第Ⅰ期 (%)			第Ⅱ期 (%)		
1	宮城県	98.6	1	熊本県	97.3
	鳥取県	98.6	2	秋田県	96.3
3	秋田県	97.3		新潟県	96.3
	栃木県	97.3	4	青森県	95.6
5	山形県	97.2	5	香川県	95.5
6	静岡県	97.0	6	群馬県	95.2
7	群馬県	96.7	7	石川県	95.1
8	福岡県	96.5	8	山形県	95.0
	岐阜県	96.5	9	岡山県	94.8
10	千葉県	96.4		北海道	94.7
	愛知県	96.4	10	茨城県	94.7
	茨城県	96.3		富山県	94.7
12	神奈川県	96.3		福井県	94.7
	新潟県	96.3	14	島根県	94.6
15	山口県	96.2		宮崎県	94.6
16	愛媛県	96.0		岩手県	94.5
17	埼玉県	95.9	16	福岡県	94.5
18	東京都	95.8		大分県	94.5
19	滋賀県	95.6	19	愛知県	94.4
	和歌山県	95.6	20	京都府	94.3
21	三重県	95.5	21	兵庫県	94.0
全国		95.4		長野県	93.9
22	兵庫県	95.4		和歌山県	93.9
23	山梨県	95.3	22	佐賀県	93.9
24	岩手県	95.1		長崎県	93.9
	大阪府	95.1		山梨県	93.8
	高知県	95.1	26	鳥取県	93.8
	福井県	94.8		山口県	93.8
27	鹿児島県	94.8	29	栃木県	93.5
29	石川県	94.7		宮城県	93.3
	奈良県	94.5	30	滋賀県	93.3
	岡山県	94.5	全国		93.0
30	広島県	94.5	32	静岡県	93.0
	大分県	94.5	33	千葉県	92.9
	宮崎県	94.5	34	奈良県	92.8
35	島根県	94.3	35	徳島県	92.5
36	北海道	94.2	36	埼玉県	92.4
	富山県	94.2	37	大阪府	92.2
	徳島県	94.2	38	三重県	92.1
39	青森県	94.0	40	高知県	92.1
40	佐賀県	93.7	40	福島県	91.6
41	福島県	93.2	41	愛媛県	91.5
42	香川県	92.9	42	岐阜県	91.4
43	熊本県	92.6	43	神奈川県	91.1
44	沖縄県	92.3	44	広島県	91.1
45	長崎県	91.3	45	東京都	89.7
46	京都府	91.0	46	沖縄県	88.9
47	長野県	89.8	47	鹿児島県	88.5

【都内の区市町村別】

第Ⅰ期 (%)			第Ⅱ期 (%)		
1	千代田区	111.5	1	檜原村	100.0
2	日の出町	107.9		奥多摩町	100.0
3	奥多摩町	106.7	3	千代田区	96.8
4	国分寺市	103.5	4	武蔵野市	96.2
5	中央区	102.0		中央区	96.2
6	狛江市	101.8	6	東大和市	96.0
7	杉並区	101.6	7	三鷹市	95.6
8	江戸川区	100.9	8	西東京市	95.4
9	府中市	100.5	9	多摩市	94.6
10	板橋区	100.4	10	国分寺市	94.2
11	文京区	100.3	11	府中市	93.5
	品川区	100.3	12	東村山市	93.3
13	墨田区	100.2	全国		93.0
14	中野区	99.6	13	杉並区	93.0
15	小平市	99.4		板橋区	93.0
16	昭島市	98.8	15	日の出町	92.6
17	調布市	98.7	16	青梅市	92.4
18	立川市	98.6		昭島市	92.4
	三鷹市	98.6	18	練馬区	92.2
20	目黒区	98.5	19	清瀬市	92.1
21	葛飾区	98.2	20	小平市	91.9
22	多摩市	97.8	21	文京区	91.8
23	小金井市	97.5	22	江戸川区	91.2
24	練馬区	97.2		立川市	91.2
25	武蔵村山市	96.9	24	葛飾区	90.9
26	北区	96.7	25	墨田区	90.7
27	日野市	96.2		世田谷区	90.7
28	大田区	96.1	27	中野区	90.3
東京都		95.8	28	日野市	90.0
29	町田市	95.7	29	江東区	89.9
全国		95.4	30	あきる野市	89.8
30	国立市	95.2	東京都		89.7
31	新宿区	94.7	31	町田市	89.7
32	福生市	94.4	32	八王子市	89.3
33	江東区	94.2	33	北区	89.2
	豊島区	94.2	34	大田区	89.0
35	武蔵野市	94.1		国立市	89.0
36	荒川区	94.0	36	稲城市	88.7
37	東村山市	93.5	37	品川区	87.7
38	東大和市	93.3	38	荒川区	87.5
39	世田谷区	93.1	39	狛江市	87.3
40	八王子市	93.0		武蔵村山市	87.3
41	稲城市	92.8	41	足立区	87.1
42	西東京市	92.8	42	豊島区	86.1
43	瑞穂町	92.4	43	新宿区	85.9
44	清瀬市	92.3		瑞穂町	85.9
45	台東区	91.6	45	羽村市	85.8
	足立区	91.6	46	調布市	85.7
47	羽村市	90.2	47	東久留米市	85.6
48	青梅市	90.1	48	目黒区	84.1
49	あきる野市	87.2	49	渋谷区	83.2
50	渋谷区	85.8	50	小金井市	81.9
51	港区	83.5	51	福生市	80.0
52	檜原村	61.1	52	台東区	79.6
53	東久留米市	52.5	53	港区	71.2

Ⅱ期の接種率
95%以上が目標

※ 2013年4月1日～2014年3月31日分（最終評価）

※ 厚生労働省「麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果（最終評価）」より協作成

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入（MRワクチン接種者数 / 麻しん風しんワクチン接種対象者数）

出典：NIID 国立感染症研究所「IASR 病原性微生物検出情報」より、下線は協会が加筆

風疹・先天性風疹症候群 2015 年 6 月現在

(IASR Vol. 36 p. 117-119 : 2015 年 7 月号)

(中略)

今後の風疹対策：

わが国は指針に基づき、早期に CRS の発生をなくすとともに、2020 年度までに風疹の排除を達成することを目標としている（本号 17 ページ）。しかし、2013 年の流行（IASR 34: 348-349, 377-378, 2013 & 35: 17-19, 2014）後も風疹に感受性がある人が成人男性に多く残されており、風疹を排除し CRS の発生をなくすためには男性への対策が重要である。

2013 年の流行時には、推定感染場所が明らかになった者の中では、職場での報告が最多であり、企業・産業医の感染症対策上の役割も大きい（本号 12 ページ）。2015 年には、アジアに拠点を持つ企業での風疹集団発生に対して、企業・保健所・産業医・自治体・地衛研・国立感染症研究所（感染研）が対応し、地域への流行を防いだ事例があった（本号 10 ページ）。

産科医を対象としたカウンセリング相談窓口（2 次施設）が全国 9 地区（16 病院）に設けられている（本号 6 ページ）。妊娠中の風疹 HI 抗体価が 16 以下の妊婦に対する出産後の予防接種を推進し、妊娠を希望する女性や妊婦の家族のみならず、妊娠を予定していない女性や未婚の男性に対しても CRS のリスクに関する啓発や事前の予防対策が重要である（本号 4、6&13 ページ）。

厚生労働省雇児局保育課は、保育士養成施設の保育実習において、予防接種未接種・未罹患者（含接種歴および罹患歴不明者）には抗体検査または予防接種を推奨している（本号 18 ページ）。

なお、感染研は指針に基づき①職場における風疹対策、②医療機関における風疹対策、③自治体における風疹発生時対応、④都道府県における麻疹風疹対策会議等、⑤医師による風疹・先天性風疹症候群届出の 5 つのガイドラインを作成した。

指針の目標である 2020 年度までにわが国からの風疹排除を達成するためには、多くの関係者の協力が必要であり、国民一人ひとりが自分のこととして風疹の予防（MR ワクチン接種あるいは風疹抗体検査等）に努めることが重要である。抗体検査を実施せずに MR ワクチンを接種しても医学的に問題はない。抗体検査で抗体陰性あるいは低値と判明したまま放置することがないよう注意が必要である。

豊島区医師会「B型肝炎ワクチン助成事業」

■ 各年度の実績

2013年度：4,432件（95施設）

2014年度：5,758件（98施設）

■ 対象：2ヶ月～1歳未満の豊島区民

■ 費用：全額助成（3回まで）

※ 豊島区人口統計によると、2013年度の出生数は2,025人となっている。仮に各年度の実績から推計（2014年度を2,000人と仮定）すると、

2013年度は 1,447人（約73%）

2014年度は 1,919人（約 96%）

ものの0歳児に3回のHBワクチン接種を提供できたことになる。

出典：東京保険医協会「診療研究」誌、2015年8月より一部加筆



今年も/
豊島区医師会がB型肝炎
ワクチン接種助成事業を
実施します。

B型肝炎から
子ども達を
守りましょう

期間
平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで

助成金額
1人につき3回まで
全額を助成します。

助成対象者
2ヶ月から1歳未満の豊島区民

詳しくは豊島区医師会のホームページで。
http://www.tsm.tokyo.med.or.jp/hygiene_01.html

実施機関：豊島区医師会 指定医療機関 公益社団法人 豊島区医師会

「ロタウイルス無料接種事業」

岩手県 気仙地域ワクチン接種基金

■ 2012年度：339人（推定接種率 92.4%）

■ 2013年度：327人（推定接種率 95.6%）

・ 無料接種により、95%
を超える接種率

・ 県立大船渡病院の5歳未満人口1万人あたりのロタウイルス胃腸炎による入院患者数が減少（震災前90～100人／年）



事業2年目には20人以下／年
（震災前に比べて 84%減）



写真：気仙の全乳幼児を対象に始まったロタウイルスワクチン無料接種
（＝県立大船渡病院・小児科、東海新報社2012年1月20日付）

保育の場において 血液を介して感染する病気を防止するための ガイドライン

ーウイルス性肝炎の感染予防を中心にー



保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン
ーウイルス性肝炎の感染予防を中心に

2014(平成26)年3月 発行

厚生労働省
集団生活の場における肝炎ウイルス感染予防ガイドラインの作成のための研究班
研究代表者 四柳 宏(東京大学医学部附属病院)

作 成 恵谷 ゆり、小松 陽樹、四柳 宏(50音順)
協 力 勝又すみれ、菊地 真琴、中島 夏樹(50音順)
イラスト 鈴木 ひとみ

保育園に入る前に済ませておきたい予防接種

以下は小児科学会が推奨しているワクチン接種スケジュール
(日本小児科学会ホームページ、予防接種関連情報、日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール：

http://www.jpeds.or.jp/modules/general/index.php?content_id=9) をもとに作成しました。

入園時には母子健康手帳でワクチン接種歴を確認し、接種すべきワクチンの接種もれがないかどうか確認することが重要です*³。

1歳前まで

定期接種.....

- | | |
|---|----|
| ① インフルエンザ菌b型 (ヒブ) | 3回 |
| ② 肺炎球菌感染症 (PCV) | 3回 |
| ③ ジフテリア、百日咳、破傷風及び急性灰白髄炎
(四種混合；DPT-IPV) | 3回 |
| ④ 結核 (BCG) | 1回 |

任意接種.....

- | | |
|------------|-------------------|
| ① B型肝炎ウイルス | 3回 |
| ② ロタウイルス | 1価ワクチン2回、5価ワクチン3回 |
| ③ インフルエンザ | 2回 |

1歳以降

定期接種.....

- | | |
|---|------|
| ① インフルエンザ菌b型 (ヒブ) | 追加1回 |
| ② 肺炎球菌感染症 (PCV) | 追加1回 |
| ③ ジフテリア、百日咳、破傷風及び急性灰白髄炎
(四種混合；DPT-IPV) | 追加1回 |
| ④ 麻しん、風しん (MR) | 2回 |
| ⑤ 日本脳炎 | 4回 |

任意接種.....

- | | |
|--------------------|---------|
| ① 水痘 (みずぼうそう) | 2回 |
| ② 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) | 2回 |
| ③ インフルエンザ | (毎年) 2回 |